

- 当社は、カーボンニュートラルへの取り組みとして、2027年度までに炭素生産性を22.1%向上させます。
- これを実現する施策として、消費電力の大きい旧型真空熱処理炉を廃止し、1回の処理に必要な消費電力の少なく、1回の処理容量が大きい新型真空熱処理炉への置き換え、処理容量が大きく効率的な生産が可能な金属3Dプリンターの導入により、生産性（＝付加価値）を向上させつつ、CO2排出量を削減します。

## [事業摘要計画の概要]

### 1. 事業適応計画の実施時期

2025年4月～2028年3月（FY2027）

### 2. 炭素生産性向上目標

炭素生産性 + 22.1%

### 3. 取り組みの内容

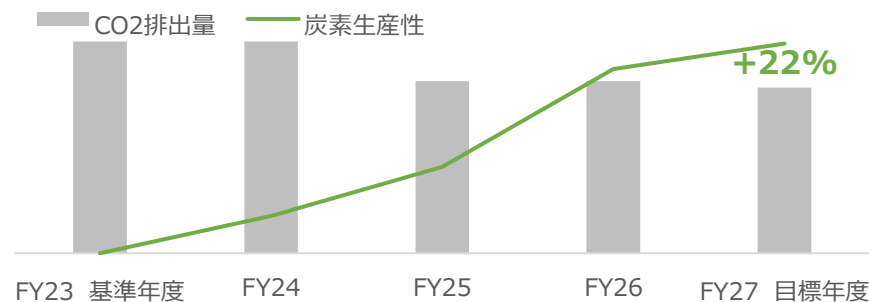
- ・ 1回の熱処理に要する消費電力が大きい旧型真空炉を①消費電力が小さく、②1回の処理容量の大きい新型真空炉に更新
- ・ 1回の処理容量の大きい金属3Dプリンターの導入

### 4. 支援措置

税制措置

（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

## [炭素生産性の向上イメージ]



[対象設備を導入する事業所] 兵庫県三木市

